

## エンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」に、ミッドレンジサーバ新モデルを追加 POWER8™ プロセッサ搭載により処理性能を向上するとともに、ハイエンドクラスの柔軟性・信頼性を実現



「EP8000 シリーズ」

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、高性能・高信頼な UNIX サーバであるエンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」のミッドレンジサーバに「EP8000 E850」を追加し、5月21日から販売を開始します。本モデルはエントリーサーバクラスのコンパクトな筐体でありながら、最新の POWER8™ プロセッサ搭載により従来モデル比\*1 約 1.8 倍に処理性能を向上するとともに、システム拡張時や障害などに伴うシステム停止を防ぐ機能を搭載することで、ハイエンドクラスの柔軟性・信頼性を実現します。

あわせて、「EP8000 シリーズ」の全モデルにおいてシステムの拡張性を強化し、基幹業務や社会インフラ向けシステムにおけるデータ量や規模の拡大に対応します。

\*1 2010年2月に販売開始した「EP8000 750」との比較

「EP8000 シリーズ」は、オペレーティングシステムに AIX®\*2を採用する UNIX サーバです。金融機関をはじめとする企業の基幹業務や鉄道、電力などの社会インフラ向けシステムなどに多くの稼働実績を有しています。

\*2 AIX: UNIX 環境のアプリケーションが利用可能であるオープンかつ高信頼なオペレーティングシステム

「EP8000 E850」は、4U\*3サイズのコンパクトなミッドレンジサーバの新モデルです。従来ハイエンドサーバで提供している、システムを稼働させたままプロセッサやメモリを柔軟に拡張できる機能や、メモリ障害によるシステム停止を防ぐ機能などを搭載することで、基幹業務システムに求められる高い柔軟性と信頼性を実現します。また、最新の POWER8™ プロセッサ搭載により、トランザクション処理性能\*4を従来モデル比\*1 約 1.8 倍に向上しました。

エントリーサーバクラスのコンパクトな筐体でありながら、ハイエンドクラスの柔軟性と信頼性、また高い処理性能を実現することで、基幹業務システムにおける集約率を向上し、効率的な運用管理が可能となります。これにより、システムの管理工数や保守コストを軽減するとともにデータセンターにおける設置スペースを削減できるなど、基幹業務や社会インフラ向けシステムにおける IT 投資の最適化に貢献します。

\*3 1U=44.45mm

\*4 トランザクション処理性能: 関連する複数の処理を一つの処理単位にまとめて管理・実行する処理(トランザクション処理)の性能のことで、プロセッサ性能だけでなく、システム全体の性能を評価するための指標

あわせて、「EP8000 シリーズ」全モデルにおいて、I/O ドロワー<sup>\*5</sup>の接続台数を増強し I/O の拡張性を強化します。また、ハイエンドサーバ「EP8000 E880」において、CPU ドロワー<sup>\*6</sup>を従来モデル<sup>\*7</sup>比 2 倍の最大 4 台まで接続可能としたことにより、POWER8™ プロセッサを最大 128way<sup>\*8</sup>搭載できる大規模なハードウェア構成を実現します。これらにより、基幹業務や社会インフラ向けシステムにおける、データ量や規模の拡大に対応することができます。

<sup>\*5</sup> I/O ドロワー: ストレージやネットワーク接続などの I/O (データ入出力) 周辺機器を搭載可能なラック型筐体

<sup>\*6</sup> CPU ドロワー: プロセッサやメモリなどを搭載したサーバの基本となる筐体

<sup>\*7</sup> 2014 年 10 月に販売開始した「EP8000 E880」との比較

<sup>\*8</sup> way: プロセッサのコア数

今後も日立は、「EP8000 シリーズ」において、ディスクアレイシステム「Hitachi Virtual Storage Platform」ファミリーや統合システム運用管理「JP1」などといった日立のストレージシステムやオープンミドルウェア製品との連携や、日立独自の AIX® 予防保守パッチなど高信頼なサポートサービスの提供により、企業の基幹業務や社会インフラ向けシステムにおける IT 基盤の安定稼働を支援していきます。

## ■ 発表の主な概要

### 1. ミッドレンジサーバ新モデル「EP8000 E850」について

#### (1) ハイエンドクラスの高い柔軟性と信頼性を実現

従来、ハイエンドサーバで提供している高い柔軟性、信頼性を実現する機能を、ミッドレンジサーバの新モデルにおいても提供します。具体的には、システムを稼働させたままサーバ上のプロセッサやメモリを柔軟に拡張することができる CUoD<sup>\*9</sup> 機能を提供します。これにより、システムを停止することなく、急な業務負荷の変動や業務対象の拡大などに対応できるとともに、ハードウェアリソースに応じ課金されるソフトウェアのライセンス費用を最適化することができます。また、メモリ障害によるシステム停止を未然に防ぐ動的メモリ切替機能<sup>\*10</sup>も搭載するなど、ハイエンドクラスの信頼性を確保し、基幹業務システムの 24 時間 365 日安定した稼働を支援します。

<sup>\*9</sup> CUoD: Capacity Upgrade on Demand

<sup>\*10</sup> 動的メモリ切替機能: サーバ内に未使用のメモリモジュールがある場合に、障害が発生したメモリモジュールのデータを移動させて、メモリ障害によるシステム停止を防ぐ機能

#### (2) POWER8™ プロセッサ搭載により約 1.8 倍の処理性能を実現するなど、システム集約率を向上

最新の POWER8™ プロセッサ(3.72 GHz)を最大 32way まで搭載でき、従来モデル比<sup>\*1</sup>約 1.8 倍となる高いトランザクション処理性能を実現しました。また、メモリを従来モデル比<sup>\*1</sup>4 倍となる最大 2TB、I/O スロット(PCI Express<sup>\*11</sup> 3.0 準拠)を従来モデル比<sup>\*1</sup>約 2 倍となる最大 11 本まで搭載可能とするなど、ハードウェアリソースも強化しました。これらにより、基幹業務システムの集約率を向上し、効率的な運用管理が可能となるため、システムの管理工数や保守コストの軽減を実現します。

<sup>\*11</sup> Peripheral Component Interconnect Express の略でコンピュータ内のデータ伝送路の標準規格

#### (3) エントリーサーバクラスのコンパクトな筐体で省スペースを実現し、IT 投資の削減に貢献

基幹業務システム向け UNIX サーバとしてはコンパクトな高さ 4U サイズの筐体を実現しています。これにより、設置スペースを削減できるため、設置面積や重量に応じて課金されるデータセンターの使用料など IT 投資の削減に貢献します。

## 2. 「EP8000 シリーズ」におけるシステム拡張性の強化について

### (1) 「EP8000 シリーズ」全モデルにおいて、I/O 拡張性を強化

「EP8000 シリーズ」全モデルにおいて、I/O ドロワー接続数を増強し、I/O 拡張性を強化しました。エントリーサーバ「EP8000 S814」「EP8000 S824」においては今回新規に I/O ドロワーをサポート\*12 します。また、ミッドレンジサーバ「EP8000 E850」「EP8000 E870」とハイエンドサーバ「EP8000 E880」では、CPU ドロワー 1 台あたりの I/O ドロワー接続数を最大 4 台までサポートします。これにより、基幹業務システムなどにおけるデータ量の拡大に対応します。

\*12 「EP8000 S814」では 1 台、「EP8000 S824」では 2 台まで I/O ドロワーを接続可能

### (2) ハイエンドサーバ「EP8000 E880」において、大規模システムへの対応を強化

「EP8000 E880」\*13 において、SMP\*14 構成で接続できる CPU ドロワー数を従来モデル比\*7 2 倍となる最大 4 台に強化したことで、POWER8™ プロセッサを従来モデル比\*7 2 倍となる最大 128way、メモリを従来モデル比\*7 2 倍となる最大約 16TB まで拡張することができます。これにより、大規模な基幹業務や勘定系、社会インフラシステムなどにおける、さらなるシステム規模の拡大に対応します。

\*13 最大 4 台まで CPU ドロワーを連結可能にした「EP8000 E880」の出荷は、2015 年 8 月末を予定

\*14 SMP(Symmetric Multiple Processor): 複数のプロセッサが同等な立場で並列処理を行う処理で、物理メモリを共有し、あたかも 1 つの高性能なサーバのように利用できる

## ■新モデルの価格と出荷時期

製品	仕様概要	価格(税抜)	出荷時期
EP8000 E850	・プロセッサ: POWER8™(3.72GHz)[最大 32way] ・メモリ: 最大 2TB ・内蔵ストレージ容量: 11.1TB ・PCI スロット: 11 本	30,319,000 円～	2015 年 7 月 31 日

## ■エンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」について

<http://www.hitachi.co.jp/EP8000/>

## ■他社商標注記

- ・AIX、POWER8 は米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
- ・UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## ■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 IT プラットフォーム事業本部

お問い合わせフォーム: <http://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上

## ■「EP8000 シリーズ」ラインアップ (POWER8™ プロセッサ搭載モデル)

 新モデル

クラス	モデル名	プロセッサ	仕様	外観
ハイエンド	EP8000 E880	POWER8™	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロック・レート: 4.35GHz</li> <li>・プロセッサ数: 8~128way</li> </ul>	<p>最大 128way の最新鋭プロセッサで優れた処理性能を実現。</p>  <p>ラックマウント型(CPU ドロワー4 台接続時)</p>
ミッドレンジ	EP8000 E870	POWER8™	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロック・レート: 4.02GHz</li> <li>・プロセッサ数: 8~64way</li> </ul>	<p>ミッドレンジクラス最高水準の性能を持ち、大規模システムにも対応可能。</p>  <p>ラックマウント型(CPU ドロワー2 台接続時)</p>
	EP8000 E850	POWER8™	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロック・レート: 3.72GHz</li> <li>・プロセッサ数: 16~32way</li> </ul>	<p>柔軟な拡張性を備えた省スペース高性能ミッドレンジサーバ</p>  <p>ラックマウント型</p>
エントリー	EP8000 S824	POWER8™	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロック・レート: 3.52/3.89/4.15GHz</li> <li>・プロセッサ数: 6/8/12/16/24way</li> </ul>	<p>拡張性を備えた、最大 24way のエントリークラス最上位モデル。</p>  <p>ラックマウント型</p>
	EP8000 S814	POWER8™	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロック・レート: 3.02GHz</li> <li>・プロセッサ数: 6way</li> </ul>	<p>ラックマウント型とタワー型を用意し、100V 電源にも対応。</p>   <p>ラックマウント型      タワー型</p>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---